

ろう者者の震災語る

豊橋市草間町の豊橋聾³知教育大を経て米国に留学。映像制作の技術を学ぶ。映像作家今村彩子さん(三三)緑区。帰国後はろう者や難聴者を追ったドキュメンタリー映画を監督した。「音のない大震災」をテーマに手話で講演し、健常者と交流する大切さを訴えた。

今村さんは卒業後、愛生徒や保護者ら八十人

ろう者の映像作家
緑区の今村さん

が参加。震災発生から十日後、宮城県に行った今村さんは「テレビを見ても新聞を読んでも、ろう者が今どうなっているのか分からず、私が取材

こえず命の危険を感じた男性、周りに手話を使える人がいない避難生活を送ってストレスに苦しむ女性を紹介した。今村さんは「必ず家の近所の人と付き合っただけで、自分から聞かせる必要はない」と説明。取材した光景をスクリーンに映し、津波警報が聞かれないのか、聞こえないのか、疎通を図るため「ニコニコしてあいさつすること大切」と呼び掛けた。

(中山梓)

「健常者との交流が大切」



「音のない大震災」をテーマに手話で講演する今村さん＝豊橋市草間町の豊橋聾学校で